

収 入  
印 紙

# 工事請負契約書

発 注 者 \_\_\_\_\_

受 注 者 \_\_\_\_\_

発注者/受注者 保証人 \_\_\_\_\_

(保証人をおく場合に限り記載してください。【発注者/受注者】のうち、いずれか該当しない方を二重線で抹消して、その部分に押印してください。)

監 理 者 \_\_\_\_\_

として

(監理者をおく場合に限り記載してください。)

この契約書（約款含む）と添付の図面 \_\_\_\_\_ 枚、仕様書 \_\_\_\_\_ 冊とによって工事請負契約を締結します。

1. 工 事 \_\_\_\_\_

2. 工 事 場 所 \_\_\_\_\_

3. 工 期 着手 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 又は工事許・認可の日から \_\_\_\_\_ 日以内  
完成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 又は工 事 着 手 の 日 从 来 \_\_\_\_\_ 日 以 内  
引 渡 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

4. 請 負 代 金 額 金 \_\_\_\_\_ 円

うち工事価格 金 \_\_\_\_\_ 円

(取引に係る消費税額を除く額)

取引に係る消費税額 金 \_\_\_\_\_ 円

5. 支 払 方 法 この契約成立のとき 金 \_\_\_\_\_ 円 又は \_\_\_\_\_ 割

部 分 払 { 第1回 金 \_\_\_\_\_ 円 又は \_\_\_\_\_ 割

第2回 金 \_\_\_\_\_ 円 又は \_\_\_\_\_ 割

完成引渡し の 時 刻 金 \_\_\_\_\_ 円 又は \_\_\_\_\_ 割

6. 調 停 人 \_\_\_\_\_

(調停人を定めた場合に記載してください。)

7. 瑕 疵 担 保 責 任 の 履 行 に 関 する 措 置

(「特定住宅瑕疵担保責任の履行に関する法律」の適用の有無および措置の内容に従い、下欄の該当箇所を○で囲み、注の指示に従ってください。)

(注) 「有」を選択した場合には、履行を確保する手段を(a)、(b)から選択し、別紙の保証書用又は責任保険用のいずれかに必要事項を記載のうえ、この請負契約書と一体化して綴り、捺印を押して、注文者に交付してください。 (イ) 有 (a) 供託 (b) 責任保険 (ロ) 無

8. 「特定商取引に関する法律」の適用の有無

(「特定商取引に関する法律」の適用の有無および措置の内容に従い、下欄の該当箇所を○で囲み、注の指示に従ってください。)

(注) 「有」を選択した場合には、「特定商取引のクーリングオフに関する別紙」(クーリングオフに関する規定が赤字の中に赤字で印刷してある別紙)を、この請負契約書と一体化して綴り、捺印を押して、注文者に交付してください。 (イ) 有 (ロ) 無

9. そ の 他 \_\_\_\_\_

(注) 建設工事が、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)第9条第1項に規定する対象建設工事の場合には、(1)解体工事に要する費用、(2)再資源化等に要する費用、(3)分別解体等の方法、(4)再資源化等をする施設の名称および所在地についてそれぞれ記入する。